

# 「夢見る力」の種

## ～前期生集会に寄せて～

校長 上野 昌弘

コロナに揺れた一年でした。クリスマス伊ブの今日も、世界各地で、コロナ対応で揺れています。親族で集まりクリスマスを祝うことができず、4人までと制限している国や、そもそも親族、友人で集まることさえ禁止している国もあるようです。サンタさんは、ワクチン売っているから大丈夫、と子どもたちを安心させるような報道もあります。

Google は、毎日、その日のトピックにあわせたロゴのデザインや関連サイトとのリンクをはっています。クリスマス伊ブには、毎年のように、今現在、サンタさんがどこにいるかという位置をマップで示すサービス(?)をしています。コロナのために、例年のようにみんなで集まることのできない今年は、例年以上の、ゲームやミニアニメなど、多彩なコンテンツで人々を楽しませてくれています。

年末年始のこの時期は、様々なメディアが行く年を振り返り、新たな年の展望を特集します。私が購読している経済各誌も、このように「アフターコロナへの活路を探る 大予測政治・経済の10大リスク」という特集で、経済や国際対立などの世界情勢を分析・予測しています。

みなさんも、この冬休み、ぜひ、この一年を振り返り、自分の生活や成長、そして、社会や世界の動きにも目を向け、新たな一年の見通しを立ててほしいと思います。

そんなときに大切にしてほしいのは、やはり自分自身が何を大切にしてきたか、大切にしているのか、自分の学びの原点、何かをする意欲の源は何かということです。

みなさんが、進級し、後期課程に進むと、「総合」は「探究」へと変わり、自分の興味や関心、じっくり考え、研究したいことに向き合う時間があります。そして、その先に、大学で何を学び、社会に出て、自分がどのように世界と関わり、それをよりよくしていくことに貢献できるか、進路を決定していくことになります。

『奇跡の論文』という本には、様々な変わった論文が紹介されています。たとえば、「ラーメンとカレー、どちらが真の国民食か」というテーマの論文です。AIを活用し、ネット上のログデータを分析することによって明らかにしようという研究です。また、「ラーメンの残り汁でエンジンは動くか?」という論文も紹介されています。これは、すでに実用段階の取り組みにまで発展しているそうです。一見、ばかばかしいようですが、この研究、BDF（バイオ・ディーゼル・フューエル）という地球にやさしいエネルギーの開発研究の一つでもあります。

こんな風に、様々な研究のネタは、身近なところにたくさんあります。なんでも研究の対象、論文のテーマになるのです。

また、坂詰先生から紹介していただいた『もっと　ヘンな論文』という本には、「竹取物語のおじいさんは何歳か？」というテーマの論文が紹介されています。実は、この問題は、古典文学の学会の中でも議論されているテーマでもあります。作品中、前半では、「70歳」と書かれていますが、かぐや姫が月に帰る後段では、50歳というような記述があるので、単なる書き間違いと片付けることもできそうですが、そうではない、この食い違いに意味、作者の意図があると考え、論文の著者は、おじいさんの性格などを細かに分析し、ある結論を出しています。興味ある人は、ぜひ、読んでみてください。

とはいうものの、この論文にどういう意味があるのでしょうか。おじいさんの年齢がわかったから、何か世界は変わるのでしょうか？

私は、こうしたこだわりや自分の興味のあることを追究していく姿勢は、とても貴重であり、こうした論文は、世界を変える、もう少し細かくいうと、世界を形づくる人の心や世界の見方を変える力を持つと思います。それは、一言で言うと「夢見る力」です。

コロナの影響で、仕事を失ったり、事業がうまくいけなくなったりした人々はたくさんいます。日本を含め、世界の多くの国々の経済が停滞しました。これは人々の生活、生命を脅かす重大な事態です。しかしながら、一方で、人がよりよく生きていくためには、経済、物質的な安定だけが必要なわけではありません。人々の心の安らぎ、安心、楽しみというものも同じくらい大切だと思うのです。

冒頭紹介した Google の遊び心のようなものが、私はあの巨大企業の根幹にある創造性の源だと思っています。

「夢見る力」は、前向きな「希望」という力強く前へ進む力となるでしょう。一方で、疲れた心を癒やしたり、誰にもわかってもらえないけど、自分自身にとってかけがえのない楽しみとして、自分をなぐさめたりするような力としても働きます。

「やりたいことが見つからない」「何のために勉強しているのかわからない」そんなとき、もう一度、自分自身を見つめてみてください。自分の身のまわりを眺めてみてください。あなたが面白いと思うもの、楽しいと思うもの、あるいは、「おや？」「どうして？」と心にひっかかるもの、そこに、「夢見る力」の種があります。

コロナによる影響は、まだ当分続くことでしょう。さきほどの大予測では、2023年ころによりやく回復の見通しがたつとありました。そんな中でも、「夢見る力」はあなたを前へと進めてくれます。苦しくつらい状況の中でも、楽しさとやりがいを与えてくれることでしょう。この冬休み、宿題や学校の勉強も大切ですが、本当に自分のやりたいことや楽しいと思えることを大切にしてほしいと思います。

新年、一人一人が、自分だけの「夢見る力」を少しでも心に蓄えてスタートが切れることを期待しています。